

滋賀県立虎姫高等学校

虎高 P T A 通信

Torahime High School Parent Teacher Association



2022年度
秋冬号

No.
152

サマーセミナーとは、大学で学問の最先端に触れ、高校の学びを実体験したり、探究的な活動を行うことで、学問への興味関心や知見を広げ、進路意識を向上させるための活動です。

2年生

1

大阪大学(物理分野)

2022.7.22

午前にはBorda振り子による重力加速度測定の実験を行い、午後からは大阪大学の教員・ティーチングアシスタント指導の下、大阪大学の設備を利用し、生徒が自ら計画した探究実験を行いました。事前に



予備実験を行っていたため、非常にスムーズに実験が進行しました。9月30日にこの実験の報告会をオンラインで行いました。

2

慶應義塾大学

2022.7.27

慶應義塾大学小林博人研究室とのサマーセミナーでは、これまでに市内田根地域の空き家の利活用のため風呂の改修、土間に置く移動式キッチンテーブルの作成、土壁・雨戸・葺戸の修繕、天井裏掃除など



の活動を行いました。この夏は田根小学校で交流できる空間づくりを目指し、ベンチや、日除けとして藤棚を作成しました。

3

滋賀県立大学・滋賀大学(文系)

2022.7.27

2年生文系生徒は7月27日(水)に2大学の講座を受講しました。午前中は滋賀県立大学の地域文化学科と生活デザイン学科のいずれか



を選択し、午後は人間関係学科か国際コミュニケーション学科、または移動しての滋賀大学の講座の中から選択して受講するという形でした。

4

滋賀大学(データサイエンス)

2022.8.18

2年生理系の希望者対象に、滋賀大学データサイエンス学部との連携講座を開催しました。講座のテーマは「防災×データサイエンス」。ドローンを使って姉川の地形を撮影し、それをオルソ化という技術で地図データへと変換しました。当日は防災におけるドローン活用に興味を持たれた長浜市長も見学に来られました。ドローンの操縦に加えて、データの採集から分析までを1日で経験できる、とても贅沢な講座となりました。

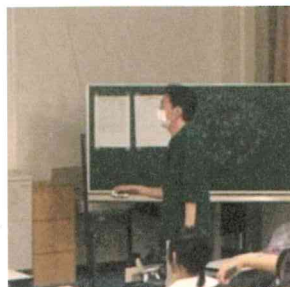


5

滋賀医科大学

2022.8.22

将来、医学や看護を志す生徒が滋賀医科大学を訪問し、医学コースと看護コースに分かれて受講しました。インフルエンザやガンの発生メカニズムに関する講義を受け、貴重なガンの標本を手にとりて見せていただくなど、貴重な体験をすることができました。

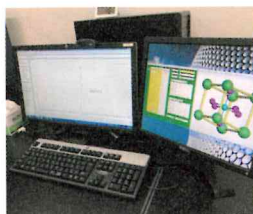


6

滋賀県立大学(化学分野)

2022.8.23

現代のエネルギー問題や、光を電気エネルギーに換える太陽光発電の仕組みについて講義を受けたあと、実際に太陽光パネルをつくり、その性能を評価しました。また電気エネルギーを蓄える電池として鉛蓄電池をつくり、その性能についても評価をしています。次世代の太陽光発電のペロブスカイト太陽電池についても知ることができ、有意義な一日となりました。



7

滋賀県立大学(生物分野)

2022.8.23

生物分野では、午前には大学周辺に生息する水生生物の生態調査、午後にはDNA電気泳動を用いてイネの遺伝子の識別を行いました。普段学校ではなかなかできない実習ができ、学びの多い一日となりました。



8

滋賀県立大学(物理分野)

2022.8.23

午前には基本的な熱力学と熱機関に関する講義、および県立大学の施設見学をしました。午後からは簡易ロータリーエンジンの試作および動作実験を行いました。

生徒たちは温度を調節したり、ゴムのテンションを変えたりして、エンジンが効率よく動作するために工夫を凝らして活動していました。



9

ミシガン州立大学連合日本センター (JCMU)

2022.8.23 / 24

JCMUからクリス・ガース先生をお招きし、Critical Thinking Skills Improvement Seminarを実施しました。ディスカッションに積極的に参加できることを目指し、質問力を高める活動を多く行いました。2年生15名(うちIB生10名)が参加し、SDGsに関連する問い「経済と地球、どちらが重要か？」など、答えが1つでない課題に向き合い、英語で議論を深めました。



1

ビブリオポスター作成

1年生

1年生では、定期的に朝読書の時間を設けるなど、学年と国語科がタイアップして、読書の推進企画を行ってきました。生徒一人ひとりがおすすめの本をポスターにして紹介するビブリオポスターもその取組の一つです。廊下に掲示して、ベストポスター投票も行いました。



図書館の風景

75回生全員の希望進路実現を願いながら、一人ひとりが一所懸命に受験勉強に励んでいます。やれることをやり切って、受験に臨みます。

3年生



部活動報告

新聞部

昨年度に引き続き、最優秀賞を受賞できたことを嬉しく思います。昨年度より紙面デザイン、配色の刷新などを行ったことで、より皆さんに読みやすい新聞が発行できていると思います。来年度も受賞できるように、後輩への伝承に努めたいと思います。

全国
最優秀賞
受賞!

4年連続 4回目



囲碁・将棋部

全国高等学校総合文化祭囲碁部門の団体メンバーの一員として東京に行きました。結果は低い順位となりましたが、全国の猛者を前にしても、全員が粘り強く戦えていました。虎姫の囲碁・将棋部は高校から打ち始めた、指し始めた初心者が多いですが、みんな飲み込みが早く、個性のある戦い方をしています。次の大会では良い成績を残せるように、部内の棋力を上げていながら、自分も負けずに強くなっていきます。



近畿大会
出場!

アーチェリー部

アーチェリー部では春の大会に向けて練習に励んでいます。秋の大会を終えて、個人そしてチームとしての課題が見つかり、それぞれ自分と向き合ってトレーニングに励んでいます。秋の大会では、18mだったまでの距離が春の大会では70mまで伸びるので時間があまりないですが1日1日を大切にしようと意気込んでいます。目標は春の大会で入賞することです。一年の部員が16人と多いので、切磋琢磨しながら頑張っていきたいと思います。



近畿大会
出場!

陸上部

陸上部は、春季総体の女子400mハードルで近畿大会に出場しました。大会の数か月前にミーティングを行い、目標記録や課題を設定していました。現在秋ごろに立てた来年の春季総体の目標達成に向けて冬季練習に励んでいます。以前よりもチームにまとまりが感じられ、しんどいメニューも声を出し合って走りきっています。県ユース、春季総体での悔しい思いを糧にし、雪や寒さに負けず頑張ります。



近畿大会
出場!

卓球部男子

春季総合体育大会で近畿大会に出場が決まり、それからの部活動の雰囲気は、目標にしてきた大会に出場する喜びがあり充実したものになりました。近畿大会が近づくにつれて、1つでも多く勝ち上がりたいという思いが強まってきました。大会当日はどの学校も勝ちたいという雰囲気の中、練習の成果を発揮することができ、近畿大会1勝という結果を残せ、最高の思い出になりました。



近畿大会
出場!

男子ソフトテニス部

私たち男子ソフトテニス部は、近畿大会まで先輩たちを中心に日々練習に励んできました。数少ない日数の中で自分のプレーを最大限まで磨き上げました。

近畿大会の結果は1回戦敗退という形で終わりを迎えました。ここまで先輩方が築いて下さった伝統や意思は、間違いなく私たち後輩に受け継がれたと思っています。これから冬に入ると、練習の機会が減ってしまいますが、一つ一つの練習の質を高め、来年は近畿大会で一勝できるように、一生懸命取り組んでいきたいと思えます。

女子ソフトテニス部

春の大会で団体3位、個人3位とベスト16で近畿やインターハイに出場することができました。しかし、近畿大会やインターハイでは良い結果が出せず、もっと頑張って練習しなければならないと感じました。秋の結果は目標の団体3位でしたが、2位までが近畿大会出場枠であったため悔しい思いをしました。だから大会後は春の大会での団体近畿出場と秋に敗れた高校に勝つことを目標に、秋の大会で学んだことを活かし、部員全員で切磋琢磨し、部活全体の士気を高めながら日々練習に励んでいます。また、個人では、2ペアが近畿インドアに出場できるので、良い結果を目指し頑張りたいです。



令和4年度 滋賀県高等学校秋季総合体育大会・滋賀県高等学校総合文化祭 結果

■ 剣道部

男子団体
1回戦 虎姫 0-4 彦根東
女子団体
1回戦 虎姫 1-1 守山 代表者戦で勝利
準々決勝 虎姫 3-2 彦根翔西館
準決勝 虎姫 1-3 比叡山 第3位

■ 野球部

選手権大会 1回戦 4-5 北大津
秋季大会 1回戦 0-7 水口

■ 水泳部

秋季総合体育大会出場

■ アーチェリー部

秋季総合体育大会出場

■ 卓球部男子

男子団体
1回戦 3-0 日野
2回戦 0-3 近江兄弟社
男子シングルス
東野勇士 ベスト16
(選考会の結果 近畿大会出場)
男子ダブルス
東野勇士・中川結斗組 ベスト16
畑澤泉綺・谷木壘威組 ベスト16

■ 卓球部女子

女子団体
2回戦 3-0 大津商業
3回戦 0-3 滋賀学園
(ベスト8 近畿大会出場)
女子ダブルス
佐野元美・前田明華音組 ベスト16

■ アメリカンフットボール部

オープン参加

■ サッカー部

1回戦 vs 伊吹 0-3

■ 男子ソフトテニス部

団体
1回戦 虎姫 3-0 玉川
2回戦 虎姫 2-0 草津
3回戦 虎姫 0-2 綾羽
団体ベスト8 (5位) 入賞

■ 女子ソフトテニス部

団体
2回戦 虎姫 3-0 大津商
3回戦 虎姫 2-1 八幡商
決勝リーグ 虎姫 1-2 長浜北
虎姫 1-2 甲西
虎姫 2-1 石山 3位

■ 個人

鳥田侑依・保科真琴ペア 2位
近畿大会出場
新道苺子・林紗羽ペア ベスト16
近畿大会出場

■ 男子バスケットボール部

2回戦 44-123 八幡工業

■ 女子バスケットボール部

1回戦 104-16 甲西
2回戦 34-82 伊吹

■ 男子バレーボール部

予選 2-0 玉川
決勝T 0-2 守山

■ 女子バレーボール部

予選 2-0 湖南農業
決勝T 0-2 滋賀短大付属

■ 男子バトミントン部

1回戦 2-3 草津

■ 女子バトミントン部

1回戦 3-2 高島
2回戦 1-3 東大津

■ 陸上部

男子走幅跳 安済司嵯 8位
女子走幅跳 河崎杏実 6位
女子800m 岸田紗季 5位
女子800m 大谷心優 7位
女子1500m 岸田紗季 4位

■ 囲碁・将棋部

囲碁部門
男子団体戦 3位
(1-5 小川裕也、1-2 横山柊吾、1-5 藤田尚希)
囲碁部門
男子個人戦 7位 中川結斗
近畿高等学校総合文化祭囲碁部門男子個人戦出場
3勝2敗で14位
将棋部門
男子団体戦Ⅱ部 優勝(樋浦侑菜、中嶋伊吹、藤井壮城)
男子個人戦Ⅰ部 ベスト8(中嶋伊吹、藤井壮城)

■ 吹奏楽部

滋賀県高等学校総合文化祭出演

■ ESS部

滋賀県高校生英語ディベート大会 4位入賞
長良川杯(即興ディベート大会) 6位入賞

■ 科学探究部

口頭発表の部 滋賀県科学教育研究会長賞
ポスター発表の部 優秀賞

■ 新聞部

滋賀県学校新聞コンテスト
優秀賞・教育長賞 → 来夏の全国総文出場決定

■ 美術部

滋賀県高等学校総合文化祭参加



イラスト:美術部(石田千智さん)

虎

2022 7/5・7/6

祭

TORASAI



トラ・ストーリー —思い出だらけの虎祭に我らの青春は託された—





1年 ミュージックビデオ

優勝 1-1
準優勝 1-5

2年 クラス企画

優勝 2-1
準優勝 2-2

3年 劇

同率優勝 3-2
3-5



クラス対抗リレー

1位 3-2
2位 2-3
3位 2-2

大 縄

1年
1位 1-2
2位 1-3
3位 1-4 1-5

2年
1位 2-1
2位 2-2 2-5

3年
1位 3-3
2位 3-1
3位 3-4

トライアスロンリレー

1年
1位 1-3
2位 1-1
3位 1-2

2年
1位 2-1
2位 2-5
3位 2-2

3年
1位 3-1
2位 3-2
3位 3-3

借り物・借り人

1年
1位 1-4
2位 1-5
3位 1-3

2年
1位 2-1
2位 2-5
3位 2-2

3年
1位 3-5
2位 3-3
3位 3-1

玉入れ

1年
1位 1-2
2位 1-5
3位 1-3

2年
1位 2-3
2位 2-2
3位 2-1

3年
1位 3-2
2位 3-3
3位 3-5

クラスパフォーマンス

1位 3-4
2位 3-3
3位 3-1



2022 7/7



修

学

旅

行

2022 11/13

11/16

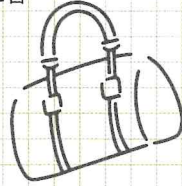
九州



1
日目

11月13日(日)

みんな新幹線に乗って、元氣よく九州へ向かっています。門司港名物の焼きカレー、地のものの海鮮などに舌鼓を打ちました。



2
日目

11月14日(月)

博多の街並み、ショッピング、料理、お土産探しを楽しみました。その後、熊本県の阿蘇の大観峰へ移動し、大自然に触れました。



3
日目

11月15日(火)

秋晴れの中、火山博物館、震災遺構などの見学を通じて自然災害について学びました。その後、ホテルで昼食をとり、長崎県佐世保市のハウステンボスへ移動しました。コテージ風のホテルは魅力的で、ハウステンボスのアトラクションや、ヨーロッパ風の街並み、クリスマスイベントなどに気持ちを高ぶらせ楽しみました。

4
日目

11月16日(水)

ハウステンボスで朝食をとった後、福岡県の太宰府天満宮へ移動しました。お参りをしたり、お土産を買ったりして、修学旅行最後の自由行動を楽しみました。



生活 実態

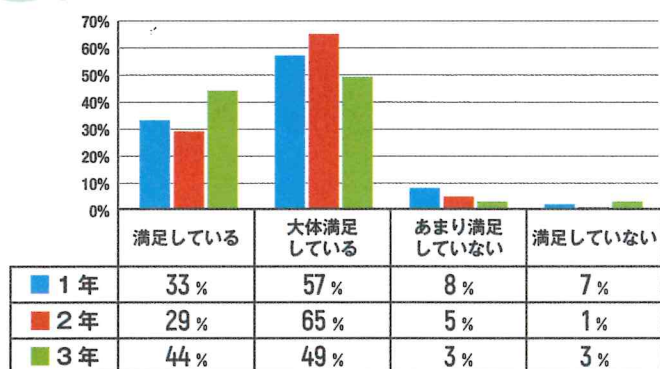
調査まとめ

調査実施日:11月7日(金)

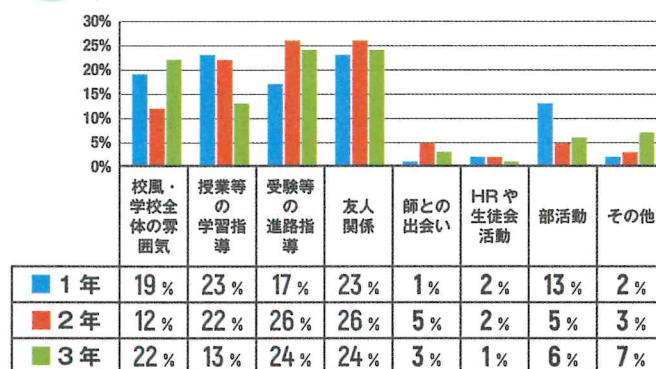


高校生活について

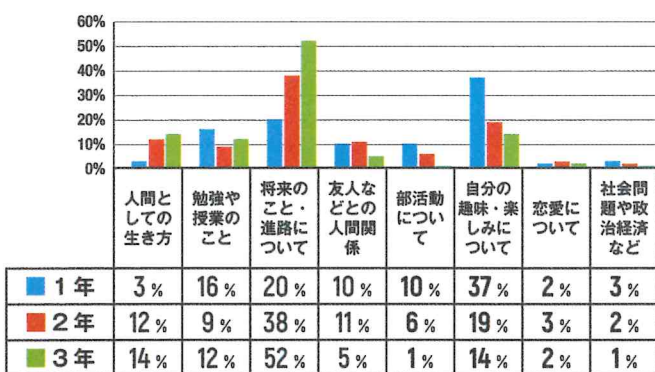
あなたは本校での生活に満足していますか



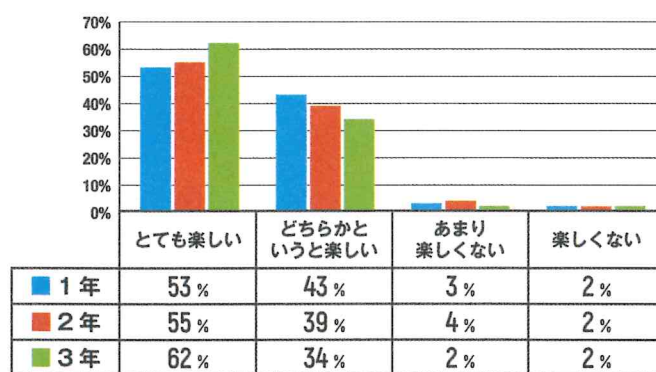
本校の教育活動や高校生活の中であなたがもっとも期待することはなんですか。



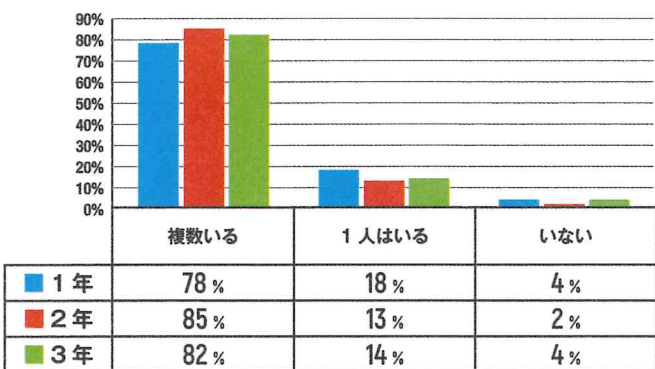
あなたが現在最も関心を抱いていることは何ですか。



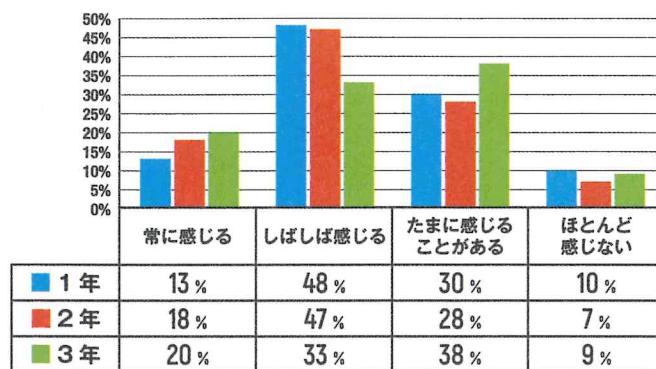
あなたは自分の所属するクラスで楽しく過ごせていますか。



あなたは喜びや悲しみを共有できる友人がいますか。

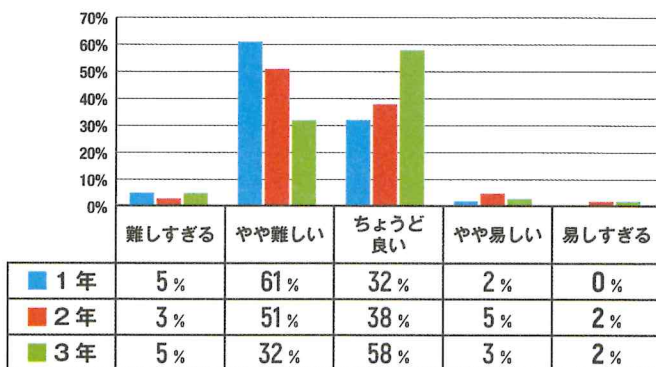


あなたは携帯電話やスマートフォンに依存したり束縛されたりしていると感じることがありますか。

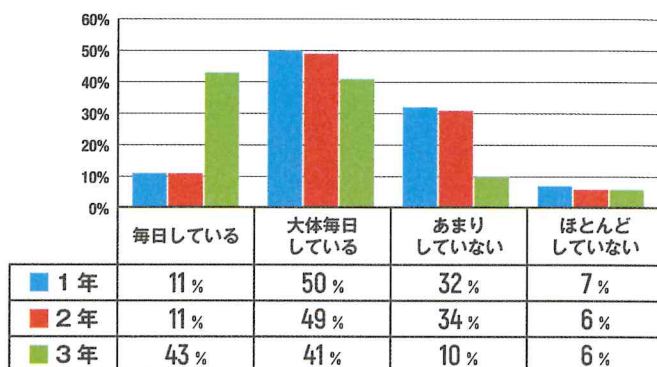


受験や学習について

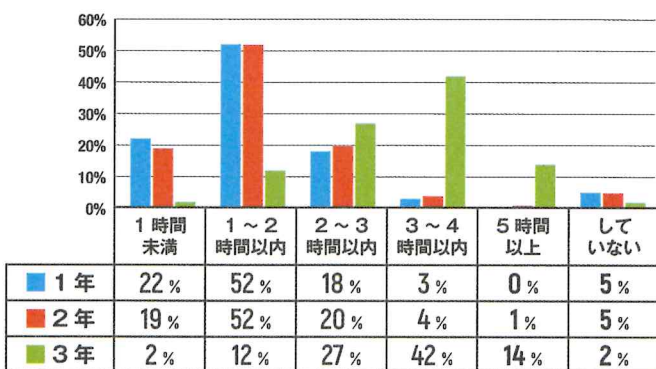
あなたは、本校の授業全体の難易度について、どのように感じていますか。



あなたは、予習・復習・宿題・テスト準備など、家庭での学習を行っていますか。（塾を含む）

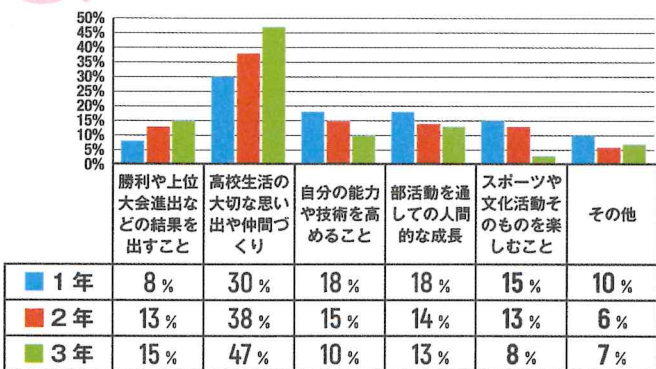


テスト期間以外の平日、あなたの平均的な家庭学習時間は、次のどれに当てはまりますか。（塾を含む）

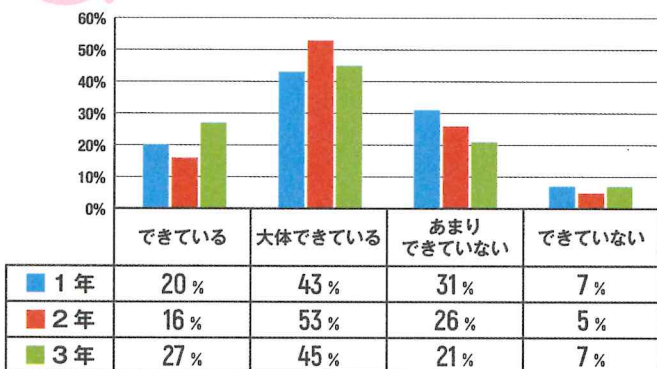


部活動について

あなたが部活動に取り組む1番の意義は何ですか。次から最も近いものを選んでください。

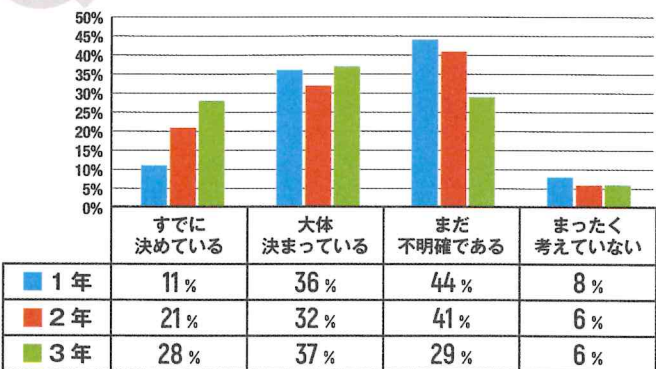


あなたは部活動と勉強の両立ができていますか。

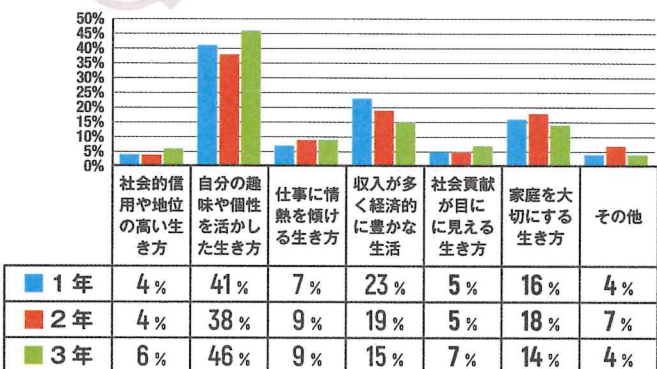


職業や将来について

あなたは、自分の中で将来就きたい職業が具体的に決まっていますか。



あなたは、将来どのような生き方をしてみたいと考えますか。最も近いものを選んでください。



卒業生へのメッセージ



3年生の先輩方、ご卒業おめでとうございます。僕は部活の剣道部の先輩方にお世話になりました。時には優しく、時には厳しくご指導して下さった先輩方の背中とは、とても力強く、今でも僕の目標です。僕たちも先輩方のように後輩に接し、強く、優しく、礼儀正しくありたいと思います。卒業されるのは悲しいですが、お体に気をつけて頑張ってください。また健心館に遊びに来てください。

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。部活動初日、右も左も分からず怯えていた私たちに手を差し伸べてくれたことがまるでついこの前の出来事のように感じられます。また放課後廊下で歩いていると時にふと見えた無機質な机の上で頬杖をついて難問に立ち向かう皆さんの姿。それは今年受験に立ち向かう私たちの見習うべき姿でした。その努力は絶対に大学生や社会人になっても生きていくと私は思います。みなさんのご活躍をお祈りします。

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。コロナ禍の中、生活を制限されることも多かったと思いますが、行事や大会が徐々に普通通りできるようになり、先輩と交流する機会が増えて嬉しかったです。先輩方の努力を見習い、私たちも後を追えるよう頑張ります。

後輩より

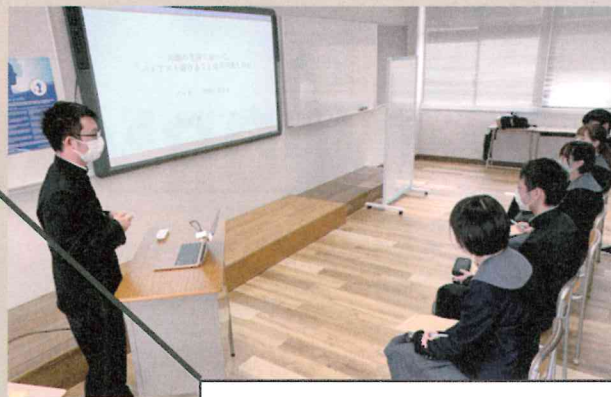


卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。コロナの影響により、先輩方と関わる機会は少なくはありましたが、学校行事や部活動などでいろいろお世話になりました。先輩方が卒業されてしまうとさみしく感じますが、これからのみなさんの活躍を期待しております。



3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。交流する機会はあまり多くありませんでしたが、虎祭で見える先輩方の姿はとてもかっこよかったです。今後のご活躍をお祈りしています。

Congratulations



3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。この三年間、コロナ禍の中、大変だったと思いますが、出会った恩師や仲間と協力し乗り越えてきました。この先、大きな壁にぶつかるかもしれませんが、人生には「壁」はつきものです。「壁」に出くわした時は、周りのご家族や仲間達を頼ってください。きっと助けてくれます。

皆さん、勇気・希望を持って新たな一歩を踏み出しましょう！

ご卒業おめでとうございます。

この日を迎えるまでの様々な思いが込み上げてくると思います。思い出が詰まった学校生活に別れを告げ、これから始まる新生活に大きな夢と期待、希望いっぱいの門出にエールを贈ります。

素晴らしい未来に幸あれ！

保護者より



ご卒業おめでとうございます。

コロナ禍での入学式から始まった虎高生活。

皆さんは、この3年間、今まで出来た事が出来ないという想定外の中、変化を受け入れ常に最善をつくしてこられたと思います。この想定外に立ち向かう過程で、大きな力を身につけられた事でしょう。自分に誇りと自信を持ってください。未来に向かって、日々前進あるのみです。良き人生を送られる事を願っております。



75回生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。高校入試から、コロナ感染症と向き合いながらの3年間でしたね。様々な困難や制約の中での学園生活でしたが、このコロナ禍の中でも、楽しいこと、うれしいこと、くやしいこと、いろいろな経験をされたことと思います。この経験をこの大変な時間を一緒に過ごした仲間を大切にしていきたいと思います。おめでとうございます。



lations on your graduation.

01

湖北地区PTA研修

今年度は、コロナ中もあり各高校でのリモート研修となりました。

一般社団法人日本LGBT協会 代表理事 清水展人さんが講師に迎えられ講演を拝聴しました。ご自身が元女性であり、結婚され2児の父になります。女らしく男らしくより、自分らしくをテーマに現在までの経験された事として、当時LGBTと言う言葉

もない中、性の事で親や兄弟との喧嘩、就職活動で女性として働く違和感、そして友人、同僚へのカミングアウト

への抵抗など色々と苦労されました。その事を活かし現在同じ環境で悩んでいる方々に向けて「自分を否定せず、またそれを個性として認め合う社会になるよう皆さんも考えて欲しい」と話されました。今まで理解していたつもりでしたが、研修を聞き、もう一度振り返る講演となりました。

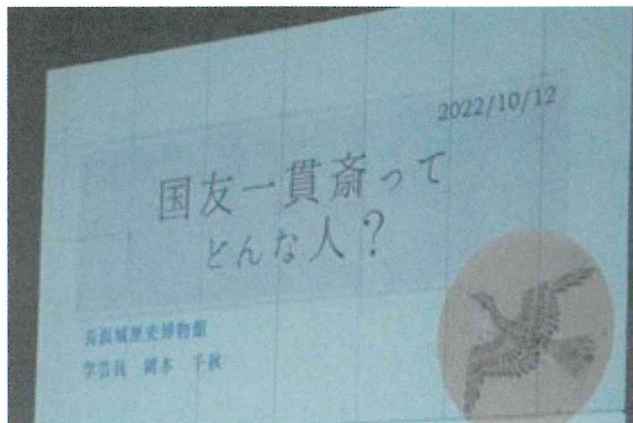


02

虎姫高校 SSH 講演会修（国友一貫斎）

今年は国友一貫斎の科学技術とものづくりについて、元京都大学理学研究科助教授の富田良雄先生と長浜城歴史博物館学芸員の岡本千秋先生のお二人を講師に招き、全校生徒対象の講演会を実施しました。近江国国友村の幕府御用鉄砲鍛冶職の家に生まれた国友一貫斎は、江戸滞在中に多くの人物と交流し、「ものづくり」の才を開花させ、ものづくりに必要な素材を追求し、実験を繰り返して記録を残すなど、科学技術者としてあるべき姿を示してくれています。

また講演後にお二人の講師と生徒代表2名、教員によるパネルディスカッションを行いました。各パネリストが文房具などの「こだわりの一品」を紹介し、どのような視点からものづくりを行うとよいか「ものづくりに必要な資質」について話合いました。



03 第71回全国高等学校PTA 連合会大会

第71回全国高等学校PTA連合会大会石川大会は「輝く未来への礎」をテーマとし、8月25・26日に開催されました。サブテーマには「親から始める新時代の教育」が掲げられ、慶應義塾大学総合政策学部教授 中室 牧子氏による「教育に科学的根拠を」、花まる学習会代表 高濱 正伸氏による「思春期の親だからできること」の講演などがあり、全国各地から約5000名が研修に参加しました。新時代の教育では、希望の持てる未来社会へのビジョンを持ち、自らが未来への礎となって主体的に行動し始めることが私たちに求められています。



04 虎祭 P T A 活動報告

COM委員会

PTAの活動としてCOM委員会を中心となり、7月5日(火)の「虎祭」にブース出展を行いました。

コロナ禍において2年間PTAによる模擬店等の出展が実現できませんでしたが、COM委員会・高橋康之委員長が中心となり、COM委員会メンバーの創意工夫と事前準備を経て生徒の皆さんにも楽しんで頂くことが出来たと思います。

コロナの感染対策からも飲食を伴う模擬店などは行えないなどどうしてもやれることが限られている状況の中、委員会

で試行錯誤しアイデアを出し合いました。

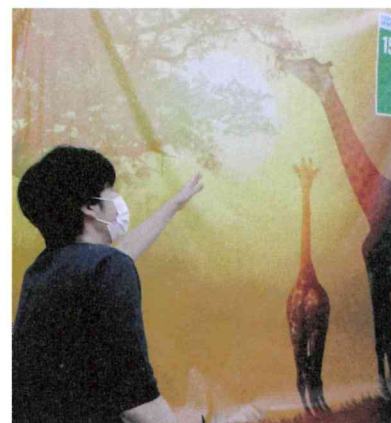
内容は、PTA企画「写メして共感する！PTA本気のフォトブース」と題して、国連が提唱する持続可能な開発目標「SDGs」を楽しく感じながら学ぶブースといたしました。

新しく竣工した姉水館をお借りし、コロナで少し遠くなってしまった海外の風景や平和で美しい世界の景色を、マスクをひととき外して文化祭の大切な思い出としてみんなで「写メ」してもらおう！という主旨です。

虎高の生徒はもちろんのこと、協力頂いた役員、委員会メンバー、そして来

場いただいた先生方にも大いに楽しんで頂けたのがとても印象的でした。

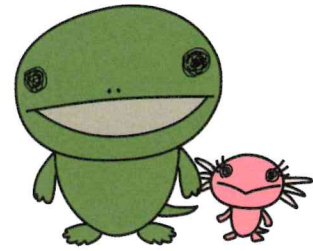
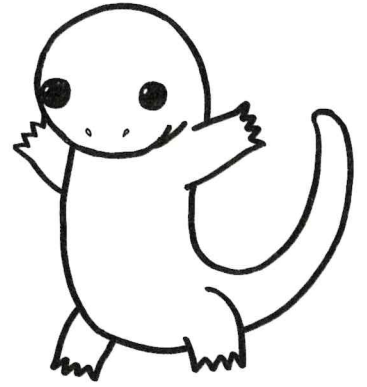
今後も来年度に向けてPTA活動が虎姫高校の学校生活をより充実したものとなるようサポートしていきたいと考えております。



生徒会だより



生徒会では、地域イベントへの参加などを通して地域との密接な関わりを大切にしてきました。地域に貢献できるよう、そのなかでも赤い羽根募金には特に力を入れて活動しました。私たちの活動に共感して下さった多くの生徒や先生方から募金がありました。学校や地域社会のためにも、これからも生徒会活動を懸命に行ってまいります。



編集後記

皆様のご協力のもと、無事2022年度秋冬号のPTA通信を発行することができました。

今号では各学年の活動や虎高祭の様子を中心にお届けします。今年度もコロナ禍が続ぎ、制約の多い中での活動でしたが、伝統を引き継ぎながら新しい虎高祭を作り上げ、全力で取り組み楽しんでいる生徒達の姿がとても印象的でした。

生き生きと輝く姿が、少しでも伝われば幸いです。

PTA通信の編集に関わって頂いた全ての方に感謝いたします。1年間本当にありがとうございました。

広報委員会 藤澤直子